

菊井徹平、日本人7人目の世界タイトル海外奪取ならず。。。

菊井世界奪取ならず。。。7月13日(金)=日本時間7月14日(土)、メキシコ・ゴメスパラシオ市の超満員(1万2,000人)で埋まったアウデイトリオ・センテナリオで行われたWBC世界スーパーフライ級タイトルマッチ。チャンピオン、クリスチャン・ミハレス選手(メキシコ)VS挑戦者(同級12位)、菊井徹平の一戦は序盤からチャンピオンが右ジャブからの手数多い攻撃で菊井を中々攻撃まで繋げさせない。それでも菊井は6回終盤にはロープに詰まりながらの右で一瞬グラつかせ、続く7回にはやや疲れを見せたチャンピオンに攻め込む見せ場を作った。しかし8回以降、再び息を吹き返したチャンピオンがボディーを中心とした攻撃で菊井を追い込む展開に持ち込み、10回終盤チャンピオンの左ボディーからの連打で菊井の手数が止まったところでレフェリーがストップ。平仲明信以来、15年ぶり7人目の日本人海外世界王座奪取と星野敬太郎以来、5年半ぶりジム2人目の世界チャンピオン誕生はならなかった。4度目の防衛に成功したミハレス選手は37戦32勝12KO3敗2分。王座奪取ならずの菊井は27戦21勝4KO6敗に。

菊井の話「チャンピオンは強かった。会場の雰囲気とかではなくチャンピオン自身に呑まれてしまった。初めて体験した攻撃のリズムで自分のボクシングをさせてもらえず、手数をもっと出したかったが、全部読まれている感じがして出せなかった。申し訳ございませんでした。この経験を今後に活かしてまた頑張りますので、応援よろしく願っています」

花形会長の話「チャンピオンが一枚も二枚も上。途中、頭をつけて打ち合えと指示を出したが、それもさせてもらえなかった。負けてしまったが、菊井にとって超満員で埋まり独特の雰囲気の中で世界タイトルマッチを戦えたのは良い経験になったと思う」

※7月19日夜、ロスに数日滞在してから帰国した菊井は翌週からジムワークを再開。年内に再起戦を行う予定でいる。

元王者・福島 学が10月15日、日本3位・瀬藤選手と対戦！

元OPBF東洋太平洋、日本スーパーバンタム級チャンピオン(現日本バンタム級4位)・福島 学が日本スーパーバンタム級3位・瀬藤幹人選手(協栄=30戦23勝11KO6敗1分)と10月15日(月)後楽園ホールで対戦することが決まった。福島にとってこれが花形ジム移籍第1戦となる。尚、この試合はスーパーバンタム級10回戦で行われる。

◆試合結果(07年7月17日迄) 田畑、2度目の挑戦でA級(8回戦以上)昇格決める！

日付・場所	試合名・階級	選手名	結果	対戦相手
7月 8日(日)大森	4回戦・Sライト級	勝沼 祐介	●1回TKO負け	桜田 良介(全日本P)
・デビュー戦の勝沼。初回、右で倒しその後も押していたが、終了間際に接近戦で右をもらいダウンを喫する。立ち上がったが無念のストップ負け。1敗。				
7月 8日(日)後楽園	8回戦・フェザー級	佐藤 昭	●8回判定負け	釈尊 全雄(ウイン三迫)
・A級初勝利が欲しい佐藤。終始パンチを良く見て戦っていたが、相手のヒットアンドアウェーにもう1つ詰めきれない展開になり0-3の判定負け。6勝1KO12敗				
7月12日(木)後楽園	6回戦・Sフライ級	田畑 光輝	○6回判定勝ち	うすい祐介(石川)
・A級昇格王手の田畑。2回終盤から相手との距離が詰まり始め、田畑がボディー攻撃で着実にポイントを取る。2-0の判定も内容的には完勝！7勝3敗3分				
7月13日(金)メキシコ	12回戦・世界タイトルマッチ	菊井 徹平	●10回TKO負け	クリスチャン・ミハレス(メキシコ)WBC王者
・現地で非常に注目度が高い中、公式行事をこなし、超満員の会場で世界戦を経験した事は菊井にとって大いにプラスになったはず。今後、更に期待したい。				
7月17日(火)後楽園	4回戦・Sバンタム級	今関 佑介	●3回TKO負け	佐々木 康博(ヨネクラ)
・連勝狙う今関。初回にダウンを喫するも2回はポイントを取る。だが3回、ガードの甘さを突かれてカウンターを喰いダウン。立ったもののストップ。1勝3敗				
7月17日(火)後楽園	6回戦フェザー級	中川 健司	●6回判定負け	宇津見 義広(ヨネクラ)
・B級初勝利が欲しい中川。2回まで互角の展開も3回から失速し始めてしまう。勝負どころのラスト2回で攻め込まれてしまい0-3の判定負け。5勝2KO2敗1分				

◇試合予定 和田(8/6)、鎌田(8/8)、田村(9/5)、A級(8回戦以上)昇格への大事な一戦！

日付	場所	選手名	戦績	ラウンド	クラス等
8月 6日(月)	後楽園ホール	和田 直樹	9戦6勝1KO3敗	5回戦	B級トーナメント・ウェルター級準決勝
8月 8日(水)	後楽園ホール	鎌田 剛幸	12戦6勝1KO3敗3分	6回戦	フェザー級
9月 5日(水)	横浜文化体育館	田村 啓	16戦5勝2KO10敗1分	6回戦	バンタム級
9月 8日(土)	後楽園ホール	中野 敬太	4戦2勝1敗1分	4回戦	フライ級
9月10日(月)	後楽園ホール	伊藤 圭太	10戦4勝1KO5敗1分	6回戦	スーパーバンタム級
9月17日(月=祝)	後楽園ホール	トム長岡	12戦8勝4KO3敗1分	8回戦	60.8kg契約(日本4位と対戦)
10月 8日(月=祝)	後楽園ホール	木村 章司	23戦20勝7KO2敗1分	8回戦	56.0kg契約(日本7位と対戦)
10月15日(月)	後楽園ホール	福島 学	40戦30勝19KO7敗3分	10回戦	Sバンタム級(日本3位と対戦)